

地域の恵みを未来のちからへ「^{まつぐま}松隈小水力発電所」

(吉野ヶ里町松隈地区)

吉野ヶ里町に流れる田手川の「^{ただがわ}一ノ瀬井堰」
から取水する既存の農業用水路を活用した
小水力発電です。発電所の中には30kWの
発電システムが設置されています。



【河川からの取水口】



【3.6×2.5mのコンテナ発電所】

小水力発電とは？

最大出力が1,000kW以下の水力発電を「小水力発電」といいます。

ダムなどの大規模開発を伴わないので環境にやさしく、ある程度の水の流れと落差があれば発電できます。



松隈小水力発電所の特徴

- ★地域住民が主体となり「松隈地域づくり株式会社」を設立し、松隈小水力発電所の事業者としました。
- ★松隈地区が健全な農村であり続けるために、地区の農業用水路を用いた小水力発電による収益を利用し、地区内の農地・山林・水利施設の維持管理活用を図ることを目的としています。
- ★自立できる自治体の小水力発電モデル（通称：**佐賀モデル**※）形成の第一歩となりました。

※佐賀モデルの特徴

- ・採算性のとれる最低出力(30kW)をターゲットとし、初期診断から基本設計までの技術をパッケージ化(標準化)することで、工期や工数を減らし、低コスト化、リスク削減を実現します。
- ・自治体が調査コストを支援することで、リスクをさらに削減することができます。

視察の受け入れいたします！

視察の内容例

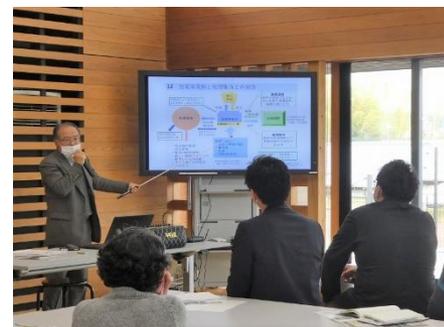
1. 事業概要説明

売電収入で地域の自立を目指す発電事業への挑戦について紹介します。

- ・小水力発電の仕組みと特徴
- ・小水力発電「佐賀モデル」とは
- ・自立できる松隈地区を目指す発電事業
- ・松隈小水力発電所の概要

2. 現地見学

現地施設の見学を通して、発電所の概要、発電システムの特徴、メンテナンスの裏話などを紹介します。



視察会参加者の声

- 地域づくりという観点で取り組まれていること、地域の人々が一体となっていること、リーダーがいること、すばらしいと感じた！
- 地域で導入しやすい出力規模で事業を行う「佐賀モデル」としてパッケージ化してコスト削減を実現したことで、他地域での「佐賀モデル」導入の一助となることが期待できる。
- 実際に発電所を見学して、自然な水の流れをうまく利用されていること、また最小限の出資と苦労で水源のメンテナンスを劇的に改善されていることを知り、とてもすばらしいと感じた。

事業概要

1. 事業者 松隈地域づくり株式会社
2. 対象地域 佐賀県吉野ヶ里町松隈地区
3. 水系・河川名 筑後川水系 田手川(一級河川)
4. 設計流量 $0.2\text{m}^3/\text{s}$ (既存の慣行水利権使用水量)
5. 有効落差 21.9m
6. 最大出力 30.0kW
7. 平均出力 23.5kW
8. 年間総発電量 205,882kWh
9. 年間売電額 約700万円(年間総発電量×34円)
10. 建設費 約6千万円
11. 資金借入れ 日本政策金融公庫(無担保) 8割
松隈地区特別会計 2割
12. 建設期間 令和2年6月～10月
13. 売電開始 令和2年11月9日



■視察・見学等のお申込み・お問合せ

松隈地域づくり株式会社 代表者 たら まさひろ 多良 正裕

Email: taram1950@yahoo.co.jp TEL: 090-8916-8283